

八百津町子育てネットワーク会議

1 会議の目的

八百津町の保育園・小中学校では、すべての子どもたちに「生きる力（知・徳・体）」を、それぞれの視点で身に付けさせることを目指した保育・教育が推進されている。

この会議は、平成26年度に設置され、保小の9年間における「教育の一貫性や連続性」を連携して進めることを目的としている。

方法的には、小学校区を中心に連携を進めることとする。

2 これまでの会議

- (1) 26年度のあゆみ ○小学校の先生と保育園の先生がさらに仲良しになる。
- ・小学校の授業を保育士さんが参観し、感想を送る。
 - ・公開保育を小学校の先生が参観し、感想を送る。
 - ・園児と児童の交流を大切にする。

- (2) 27年度のあゆみ

- ①共通教育内容の実践・・・授業・設定保育はじめの終わりの挨拶など
- ②子ども同志の交流の充実・・・双方の学びになる取り組み
- ③教職員の交流の充実・・・公開保育、全校研究会を通して
- ④年度末保小接続プログラムづくり
- ⑤学びの連続性カリキュラム研究立ち上げ・・・小学校生活科を中心として

- (3) 28～31年度について

保小連携

・保小連携のねらいや具体

・校区交流（実態交流、あいさつの現況、公開保育・研究授業の現況、子ども同士の交流の確認）

接続プログラム

- (4) 令和2・3年度は実施できず？

3 令和4年度「保小連携」の重点について

すべての子どもたちに「生きる力（知・徳・体）」を、それぞれの視点で身に付けさせることを目指し、保育・教育が推進されています。

子育て支援ネットワーク会議では、保小9年間における「教育の一貫性や連続性」をねらい、小学校区ごとに連携して、子ども育てることを進めてまいります。

9年目にあたる令和4年度も、「さらに」「ともに」「とことん」という姿勢で、「一貫性や連続性」を考え、実践を積み重ね、町内すべての子どもたちの「生きる力」を育成していきます。

- (1) 共通教育内容『あいさつ・聞く姿勢・美しさ』を実践していく。
「授業や、設定保育の始めと終わりのあいさつの充実」を図っていく。
『授業や、設定保育の始めと終わりのあいさつの充実を図りながら、どの場面でも、あいさつがしっかりできる子』『人の話がしっかり聞ける子』『環境の美しさ』の3点を、保小どちらでも大事に、学習・生活における基本の「一貫性や連続性」を追求したい。
- (2) 『子ども同士の交流』は、双方が学び合える場としていく。
予定されている「子ども同士の交流」は、双方にとって、何らかの学びや育ちがある場とし、校区保小の連続性を追求したい。半日入学、運動会、プール交流、総合的な学習などでの交流を深めたい。
- (3) 『年長児公開保育と全校研究会での教職員の交流』を継続していく。
年長児の公開保育と小学校全校研究会授業での教職員交流を継続し、保育、教育の「一貫性や連続性」を追求したい。
- (4) 『保育園の遊び』を『小学校の生活科』につなげる。(別紙)

(5) 「家庭教育」「子育て支援」の在り方を検討・交流の場とする。(新)